

国際交流・社会貢献等の概要

(1) 東京基督教大学 グローバル化推進に関する方針

「建学の精神」、「理念とミッション」を実現するため以下の方針に基づき、本学のグローバル化を推進する。

1 留学生の受入れ

正規学生として国内外から留学生を受け入れ、在学生に占める留学生の割合を 25 パーセント以上となることを目指す。また短期留学生を、科目等履修生として協定校をはじめとする国外の大学や高等教育機関等から積極的に受け入れる。

2 学生の留学支援

国外大学等における語学・異文化研修、インターンシップ、イスラエル・スタディー・ツアー、短期留学プログラム、ダブルディグリープログラム等に、全学生の 10 パーセント以上を送り出すことを目指す。

3 教育・研究環境の整備

- ①日本語、英語、日英バイリンガルによる授業を提供する。
- ②外国語教育の充実のため、1クラス 20 名以下の少人数、習熟度別クラスを提供する。
- ③本学の特徴である寮教育を活かし、寮内においても留学体験を提供し、日本人学生と留学生との交流イベントなどのプログラムを実施する。
- ④日英バイリンガルで教授、指導できる教職員を採用配置し、ホームページ、各種文書の情報は、日英バイリンガルで発信する。国外の大学や研究機関等と協定し、人的交流、情報交換、共同研究等を拡大充実させる。教育・研究の成果を教会及び社会に広く還元する。

(2) 東京基督教大学の社会貢献活動の状況

本学の社会貢献に関する基本方針（中期計画）は以下の通り

「諸教会のニーズに応えつつ、その将来を切り拓くべく教会との協力を強化し、福音のユニークさをもって現代社会と地域に貢献する。」

上記に従い、神学部単科大学として、教会および地域をはじめとした社会に対する貢献を行っている。

具体的には、公開講座・エクステンション（教務部、教会音楽アカデミー）、大学チャペルでの音楽コンサート（教務部、教会音楽アカデミー）、地元自治体と連携した地域福祉の向上活動（キリスト教福祉学専攻）、キリスト教理念に立脚する各種研究活動（共立基督教研究所、国際宣教センター）等を行っている。活動の詳細は事業報告を参照のこと。

(3) 東京基督教大学の大学間連携の状況

大学団体等として、日本私立大学協会、千葉県私立大学短期大学協会、キリスト教学校教育同盟、日本福音主義神学校協議会等に加盟している。

単位互換協定として、千葉県私立大学短期大学間単位互換協定に加盟している。(ただし単位互換の実績はない)

海外大学との連携については、「(1) 海外の協定相手校」を参照のこと。

(4) 東京基督教大学の産官学連携の状況

特記事項無し